



東小学校だより

木 洩 れ 陽

令和3年7月5日 No.4

文責 校長 濱砂一徹

いよいよ夏本番の7月に入りました。学校ではプール開きも終わり、子どもたちが1年越しの水泳を始めています。コロナウィルス対策を行いながらの水泳指導となりますので、例年とは異なり、子どもたちの歓声がプールから聞こえてきません。密を避けながら水泳指導を行っていかうと思います。

さて、先週末、低、中、高学年部ごとの参観授業を行いました。多数の保護者の皆様に、授業参観ならびに学級懇談に参加していただきました。お忙しい中ご来校いただき、ありがとうございました。

【「間違えた問題」を大切にする】

各教科の学習問題の中には、簡単に解ける問題も、なかなか解けない問題もあるかと思います。子どもによって、得意な教科、苦手な単元（領域）等もあります。大切なのは、「間違えた問題」にこそ、その子どもを成長させる宝物が詰まっているということです。

“自分はこの問題がなぜ解けなかったのだろうか” “どうしてこの問題は理解できなかったのだろうか” と考えることで、越えなければならない壁が明らかになります。間違えた問題をそのままにせず、間違えた理由を自問し、正答にたどり着こうとするその姿勢が子どもを大きく成長させます。日々の学習の中で子どもが問題を間違えたときこそチャンスと捉え、その問題にじっくりと向き合う習慣を付けさせていきたいと思います。

栽培活動を通して・・・

現在、1、2年生が生活科で育てている植物が順調に育っています。1年生は朝顔、2年生はミニトマトにサツマイモ。先日の早朝、1年生教室横のベランダで、青紫色をした大輪の朝顔を見つけました。子どもたちは、植物の栽培活動をとおして、生き物の命を尊ぶ心、植物を世話する実践的態度等を学ぶことでしょう。

朝顔の 花の命や 夏の雨

正岡子規

